

主題：キリストを経験し、享受し、表現する

メッセージ 2

福音書において (2)

大いなる光、権威を持つ方、医者、花婿、縮ませていない布切れ、新しいぶどう酒

聖書：マタイ 4:16. 8:5-13. 9:9-17

- I. キリストは大いなる光であって、暗やみの中に座っている者に輝き、死の領域と死の影の中に座っている者に昇ります——マタイ 4:16. ヨハネ 1:4-5. 12:36. エペソ 5:8. コロサイ 1:12-13. II コリント 4:6-7. 使徒 26:18 :
- A. 「わたしたちの神のあわれみ深い慈しみのゆえに、昇る太陽が高い所からわたしたちを訪れ、暗やみの中に、また死の影の中に座っている者に輝き、わたしたちの足を平安の道へと導きます」——ルカ 1:78-79。
- B. 「わたしの名を畏れるあなたがたには、義の太陽が昇り、彼の翼にはいやしがある。あなたがたは出て行って、よく肥えた子牛のように跳び回る」——マラキ 4:2. 詩 84:11. 86:11。
- C. 詩第 22 篇は、「夜明けの雌鹿に合わせて according to the hind of the dawn」です——タイトル。
- D. 「彼を愛する者たちは、力強く昇る太陽のようになりますように」——士 5:31 後半. イザヤ 60:1, 5 前半。
- E. 「義人の路は夜明けの光のようだ. いよいよ輝きを増して真昼となる」——箴 4:18. ペリピ 2:15-16 前半。
- F. 「その時、義人は彼らの父の王国で太陽のように輝く」——マタイ 13:43 前半。
- II. 主が権威を持つ方であることを百人隊長が見たのは、主が権威の下にある人であったからです—— 8:5-13 :
- A. 百人隊長は、「わたしも権威の下にある者です」と言ったとき、主が権威の下にある人であることを承認しました。百人隊長は権威の下にある人であったので、彼の下にいる人に命令する権威を持っていました—— 9 節前半 :
1. 主イエスは地上での人性における神・人として、絶対的に御父の神聖な命の支配の下にいました——ヨハネ 5:19. 4:34. 17:4. 14:10, 24. 5:30. 7:18。
 2. 彼は人として、彼の天然の人性を否み、天の御父の神聖な命の抑制の下で人の命を生きました。
 3. 彼は実際的に御父の神聖な命の支配の下にいることによって、命の中で王として支配していました——ペリピ 2:8-11。
 4. 彼は御父の権威の下にいる人であったので、御父の権威を持っていました。
 5. わたしたちは畏るべき水晶のような明るい空（正しい純粋な良心）を持ち、わたしたちと主との間に何もないとき、主の支配する臨在の天的な状態、雰囲気、状況を持ち、恵みがわたしたちの中で王として支配することによって、命の中で王として支配します——エゼキエル 1:22, 26. 啓 22:1. ローマ 5:17, 21. ヘブル 4:16。

参照、コロサイ 1:13。

B. 百人隊長は主イエスの権威を承認しました——マタイ 8:9 後半：

1. 主に関して、彼の権威はおもに彼の言葉の中で行使されます——8 節。
2. わたしたちに関して、主の権威は、彼によってわたしたちの中へと注入し込まれた信仰を通して行使されます——マタイ 8:10, 13. ヘブル 12:2。

C. 主イエスは地上にいたとき、権威を持つ方としてわたしたちを教えました——マタイ 7:28-29. マルコ 1:22：

1. 自ら立てた聖書学者は、自分でむなしい知識を教え、何の権威も何の力もありませんでした——参照、II コリント 3:6, 8。
2. 主イエスは、神の権威づけられた教師として、神による実際を教え、霊的な力を持って人々を征服しただけでなく、神聖な権威を持って、彼らを神聖な支配に対して服従させました——イザヤ 30:20-21. マタイ 23:8, 10。

III. 天的な王国の王としての主イエスは、王国のために彼に従う人を召したとき、医者として務めをしました——9:9-13：

- A. 裁判官の裁きを義にしていますが、医者はいやしはあわれみと恵みにしています。
- B. もし主イエスがわたしたち、あわれな人に裁判官として訪れたなら、わたしたちはみな罪定めされ拒絶され、わたしたちのだれも資格づけられ、選ばれ、召されて、彼の天的王国の民となることはなかったでしょう——8:2-16, 28-32. 9:2-11. 詩 103:1-4. 107:17-22。
- C. しかしながら、彼は医者として来て務めをし、わたしたちをいやし、回復し、生かし、救って、わたしたちが再構成されて彼の新しい天的な市民となるようにしました。彼はわたしたちをもって、この腐敗した地に彼の天的王国を堅く立てることができます。
- D. 「義人はいない、一人もない」（ローマ 3:10）。すべての「義人」は、パリサイ人のように自らを義とします（ルカ 18:9）。王なる救い主が来たのは、これらの者を招くためではなく、罪人を招くためです。
- E. 主はわたしたちの医者として、おもにわたしたちの霊と魂の中でわたしたちをいやし、わたしたちの霊的な病をいやします。取税人や罪人は、肉体的にではなく霊的に病んでいました——マタイ 9:10, 13. 箴 4:20-23。
- F. わたしたちが十字架につけられたキリストを経験し、十字架につけられた生活をすると、復活したキリストはわたしたちのいやす力となり、主はわたしたちのいやし主となります——出 15:22-27。

IV. キリストはわたしたちの花婿です——マタイ 9:14-15：

- A. 医者も花婿も喜ばしい人です。王なる救い主はまず彼に従う者たちをいやし、次に彼らを花婿と付き添いの友にします。最終的に、彼は彼らを彼の花嫁とします。
- B. わたしたちは彼をしっかりと捕らえる必要があります。それは、わたしたちの命が回復されるための医者としてだけでなく、わたしたちが彼の臨在の中で生きるという享受を持つ花婿としてでもあります——ピリピ 3:12-13。
- C. その霊は御父によって使いとして遣わされ、キリストの豊富をもってわたしたちを

美しくし、キリストの花嫁とならせます——創第 24 章、エペソ 5:25-27。

V. キリストは縮ませていない布切れ、またわたしたちの新しい衣服です——マタイ 9:16.

ルカ 5:36 :

- A. 「縮ませていない」という言葉は、「とがしていない、蒸気をあてていない、さらしていない、処理されていない、収縮されていない、加工されていない」を意味します。
- B. 縮ませていない布切れは、加工されておらず、処理されていない、新しい布切れとしての、肉体と成ることから十字架までのキリストを表徴します。しかしルカ第 5 章 36 節の新しい衣は、十字架において「処理された」後の新しい衣服としてのキリストを表徴します。
- C. キリストはまず、新しい衣のための縮ませていない布切れでした。次に彼の死と復活を通して新しい衣とされ、神の御前でわたしたちの義としてわたしたちを覆い、わたしたちが神によって義とされ、彼に受け入れられるようにしました—— 15:22. ガラテヤ 3:27. I コリント 1:30. 詩 45:13-14. 啓 19:8. エレミヤ 2:32.
- D. 縮ませていない布切れを古い衣に継ぎ当てすると、その収縮する力で衣を引き裂き、こうして破れをさらにひどくします。縮ませていない布切れを古い衣に継ぎ当てることが意味するのは、キリストが地上で人の生活において行なったことを、十字架につけられたイエスを贖い主として信じず、復活したキリストを義として信じないで、人が模倣して、神によって義とされ、彼に受け入れられるようにするということです。
- E. 彼らがキリストの人の生活を模倣することは、彼らの「古い衣」、古い天然の命によって生み出される彼らの振る舞いを「引き裂き」ます。
- F. 王国の民は、このようなことはしません。彼らは十字架につけられ復活したキリストを彼らの新しい衣として取り、神の御前の義としてのキリストで自らを覆います。

VI. キリストはわたしたちの新しいぶどう酒であり、新鮮な皮袋に入れられます——マタイ 9:17 :

- A. 「新しい」のギリシャ語は、「時間において新しい、最近の、新しく所有された」を意味します：
 - 1. 新しいぶどう酒は、わたしたちを強め、活気づけ、とても幸いにする、新しい、元気づける命としてのキリストを象徴します——士 9:12-13。
 - 2. すべての宗教家は古い皮袋です。古い皮袋の中に入れられた新しいぶどう酒は、その発酵力によって、皮袋を張り裂いてしまいます。新しいぶどう酒を古い皮袋に入れることは、わき立たせる命としてのキリストを、ある種の宗教の中に入れることです——マタイ 9:14-15。
 - 3. 宗教的になるとは、その霊としてのキリストから離れて、彼なしに、神を礼拝し、神に仕え、事を行なって神を喜ばせることです——参照、ガラテヤ 1:14-16 前半。
- B. 「新鮮な」のギリシャ語は、「性質、品質、様式において新しい、慣れないもの、未使用である」を意味します：
 - 1. 新鮮な皮袋は、新しいぶどう酒の容器としての地方召会の召会生活を象徴します。その新しいぶどう酒は、わき立たせる命であるキリストご自身です。

2. 個人のキリストは新しいぶどう酒であり、内側でわき立たせる命です。団体のキリストは新しい皮袋であり、新しいぶどう酒を保つ外側の容器です。団体のキリスト、召会は新しい皮袋であり、ぶどう酒としての個人のキリストを入れます：
 - a. キリストの拡大としての召会はキリストで満ちており、キリストで構成されています。
 - b. 肢体たちは共に構成されて一つからだであり、このからだはキリストです。キリストはからだのかしらであり、かしらのからだです—— I コリント 12:12, 使徒 9:5。
 - c. キリストは分けられません。あなたの中のキリストは、わたしの中のキリストと一であり、わたしたちの中のキリストは、他のすべてのクリスチャンの中のキリストと一です—— I コリント 1:10, 13 前半。
 - d. ですから、キリストは、彼で満たされた多くの肢体から成るからだです。これが新しい皮袋であり、召会生活であって、新しいぶどう酒としてのキリストを入れます。
3. 召会の人々の間で、新しい衣、新しいぶどう酒、新しい皮袋は、すべて回復されています。わたしたちは団体的にわたしたちの召会生活としてのキリストを持っており、召会、皮袋は神の究極の目標です。